

3D機能活用

EOブラウザ
ネムルト山

NASAのウェブサイト地球観測所 (earthobservatory) は、「考える翼」を育ててくれます。紹介される印象的な画像は私たちが机上のパソコンで再現しようとする意欲を高めます。前号のYACかわら版はISSの宇宙飛行士が撮影した画像でしたが、本号もISSからニコンカメラをつかって宇宙飛行士が撮影した画像を紹介します。

2月25日の今日の画像は、「^{みりよくてき}魅力的なカルデラ」トルコのテュルキエ東部にあるこの地質的に若い成層火山の頂上の窪地は、湖と溶岩流で満たされています...とつづいています。撮影は2022年
<https://twitter.com/NASAEarth/status/1762565769345282499>



①に近い観測日の衛星データをEOブラウザで探してみました。③のランドサット8-9です。

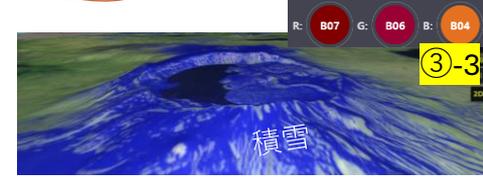
ネムルト山

- 成層火山
- 最後に確認された噴火：1650年
- 位置：北緯38.654度
東経42.229度
- 標高：2948m

<https://volcano.si.edu/volcano.cfm?vn=213020>



③を3D化すると、カルデラの特徴が実感できます。③-2 積雪の場所は、Custom色合成で確認できます。カルデラ湖は凍結していません。③-3



カルデラの縁(ふち)が強調されています。噴火により火山のマグマ溜(たまり)が急速に空になったときにカルデラが形成されました



EOブラウザでは、標高データを活用しながら、位置情報を持っている観測データを、3D化することができます。③D化で多くの情報を得ることができるようになります。少し植物は生えているようです